前橋市役所
文化国際課
ジャクソン・バニスター

第五号 令和八年一月

MAEBASHI FOCUS

国際交流員（CIR）ニュースレター

皆さん、ハウディ！ホリデーシーズンも終わりを迎え、私にとって前橋での1年目も一区切りとなりました。今回はいつものニュースレターを少しお休みして、テキサス州の人々、特に自分の家族がどのようにクリスマスを祝っているのかについてお話ししたいと思います。
12月上旬に行った料理教室では、小学生や中学生たちにテキサスの定番料理を教えながら、テキサスがどういうところを紹介しました。今回のニュースレターはその振り返りになっています。

まず、テキサスのクリスマスは、日本と大きく異なる点をはっきりさせておきたいと思います。テキサスでは、クリスマスは恋人同士で過ごすイベントというよりも、家族中心の祝日です。私たちの場合、州各地から親戚が集まり、まさに王様に相応しい豪華な食事を囲んで過ごします。
多くのアメリカの家庭にも当てはまりますが、我が家にとってクリスマスは「一年で一番大切な祝日」なので、このお祝いのために、数週間帰国する予定です。

シャルキュトリーボード

パンプキンとアップルパイ

日本と同じように、アメリカでもクリスマスシーズンは12月ではなく、10月下旬ごろから始まるように感じられます。気温が30度前後、あるいはそれ以上ある中で、すでにクリスマスの装飾が並び始めるのを見ると、いつも不思議な感じです
クリスマス当日でも意外と暑いため、本当は分厚いコートやマフラーを身に着けたいところですが、実際にはジーンズに薄手のセーターといった格好で過ごしている人をよく見かけます。
食事について、日本ではクリスマスの定番といえば、大きな七面鳥（あるいはチキン業界にまんまと乗せられていればKFCのチキン）、そしてクリスマスケーキなどを思い浮かべる方が多いかもしれません。ですが、我が家ではもう少し贅沢なスタイルになります。

クリスマスツリー

例えば昨年のクリスマス・イブは、子ども二人分くらいの大きさのシャルキュトリーボードをはじめ、デビルドエッグ、ガンボ、ラザニア、チョコレートケーキ、そしてパンプキンパイとアップルパイを楽しみました。さらにその前年には、地元のBBQ店のテキサスBBQがクリスマスの食卓に並びました。

こうした料理を楽しみながら、夜はゲームをしたり、1年ぶりに会う親戚と近況を語り合ったり、映画を観たりして過ごします。夜に「ホワイトエレファント」というプレゼント交換ゲームで日を締めくくるのが恒例です。
参加者はそれぞれラッピングしたプレゼントを1つ持ち寄り、冗談用のものもあれば、本気で欲しくなるようなものもあります。中身は誰にも分からない状態で、くじ引きで順番を決め、まだ選ばれていないプレゼントを取るか、すでに誰かが開けたものを「奪う」ことができます。

クリスマス当日の朝は、ゆっくりと朝食を楽しみながら、みんなでプレゼントを開けます。子どもの頃から、この日を一年で一番ワクワクする日でだと感じているのはきっと私だけではないと思います。
プレゼントを開けたあとは、親しい家族と静かに一日を過ごします。父と一緒に料理をしたり、映画を観たりすることが多いです。外出してイベントやアクティビティを楽しむ人もいますが、私たちはあまり出かけず、家族で過ごす時間そのものを大切にしています。

今月は以上となります。前橋で迎える新しい一年がどんなものになるのか、とても楽しみにしています。来年も引き続き、私の活動について読んでいただけたら嬉しいです。
皆さま、素敵なクリスマスを過ごされたことと思います。
2026年が、皆さまにとって良い1年となりますように！